

## 飯野海運株式会社との間で、 「DBJ環境格付」に基づく融資契約を締結

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、飯野海運株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：當舎裕己、以下「当社」という。）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資契約を締結しました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、原油、ケミカル製品、液化天然ガス（LNG）や液化石油ガス（LPG）等の液体貨物のタンカーによる輸送を主力とする海運業に加え、東京都内・ロンドンにおいて複数の賃貸オフィスビルを保有し、不動産業も展開しています。中期経営計画「Be Unique and Innovative. : The Next Stage - 2030年に向けて -」において、2030年までに海運業では輸送単位あたりの、不動産業では保有ビルあたりの温室効果ガスについて2008年比40%削減目標を設定する等、環境保全を含めた社会的ニーズへの対応を掲げています。

当社は不動産ポートフォリオの拡充と環境保全対応を推進するため、「日比谷フォートタワー」プロジェクトに参画いたしました。同ビルは太陽光パネルや日光による放射熱を低減するLow-Eガラスを備えるなど環境に配慮した設計となっており、2021年6月に竣工を予定しています。また同ビル建設に際し、本件「DBJ環境格付」の取得に併せて、当社初となるグリーンボンドを発行、グリーンローンの借入れをする予定です。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 安全環境委員会を中心とした社内横断的な環境マネジメント体制を構築し、海運業における温室効果ガス削減を企図した次世代燃料船の導入推進や輸送需要に応じた減速航行等の取り組み、不動産業において、飯野ビルディングでの「イイノの森」整備等を通じた周辺生態系への配慮やBEMS活用による省エネルギー施策等により、ハード・ソフト両面から事業を通じた環境配慮に資する取り組みを推進している点
- (2) 中期経営計画における重点取組分野にサステナビリティを位置づけるとともに、IINO環境タスクフォースを発足させる等、脱炭素社会への移行を念頭に外部環境の変化と顧客や社会からの要請を踏まえ、事業の成長とサステナビリティの接続を意識したマテリアリティの特定に着手している点

その結果、当社は「環境への配慮に対する取り組みが先進的」という格付を取得しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

**【お問い合わせ先】**

企業金融第4部 電話番号 03-3244-1640